

24年(令和6年)3月3日(日曜日)

福島民報

社会

(第三種郵便物認可)

# 郷音 相馬高太鼓部 「ハイキュー!!」盛り上げ



練習に励む、相馬太鼓部のメンバー

ハイキュー!! バレーボールを題材にしたアニメ「ハイキュー!!」が、今年まで連続された。主人公の日向翔陽が個性豊かな仲間とともに全国大会を目指す物語。2023年9月時点で単行本の累計発行部数は6千部を超えている。テレビアニメや映画にも人気を集めている。

## 応援団モデル アニメ音源録音

高校バレーボール部を舞台にした人気漫画「ハイキュー!!」に、主人公が所属するチームの応援団として和太鼓団体が登場する。大ヒット映画の「劇場版ハイキュー!!」の相馬太鼓部による応援がモデルになっている。しかも、アニメや劇場版で使われているのは、相馬太鼓部の演奏を録音した音源だ。部員は「地域に伝わる太鼓の音源を全国に発信する機会になった」と胸を張る。

太鼓部所属の2020年1年生の収録に参加した大須賀(養高バレー)を取材した。明恵さん(20)は東北学院大相馬高の選手を力強い演奏で鼓舞する相馬太鼓部の姿と本格的な録音機材に目を留め、感動したのが作られた中で演奏し、とても緊張したと振り返る。当時、相馬高を訪ねて新型コロナウイルスの感染拡大で部活動は制限されていた。大須賀さんは「練習場の開放を認め、主人公が所属する鳥野高の応援団のイメージを固めた。アニメ版の応援シーンは「相馬高」と「相馬の音」の両方が使われている。どちらか一方(令和2)年9月、当時の部員が校内の講堂で演奏したのを録音した。劇場版も同じ音源だ。

「相馬在来」は川俣町の和太鼓奏者湯藤元氣さん(58)が作曲を手がけ、相馬の音は湯藤さんがアレンジした。劇場版のエンディングには、相馬太鼓部と明記されている。部員は現在、32人。和太鼓大会や市内内外の祭りに積極的に参加し演奏を披露している。部長の小林栄志(29)は「ハイキュー!!」の大ファン。映画で



大ヒット映画の「ハイキュー!!」に描かれた応援団の一コマ。2024年「ハイキュー!!」制作委員会(古賀 一集)提供

作者の古賀一さんは漫画の連載開始前、日本バレーボール高校選手権大会(養高バレー)を取材した。相馬高の選手を力強い演奏で鼓舞する相馬太鼓部の姿と本格的な録音機材に目を留め、感動したのが作られた中で演奏し、とても緊張したと振り返る。当時、相馬高を訪ねて新型コロナウイルスの感染拡大で部活動は制限されていた。大須賀さんは「練習場の開放を認め、主人公が所属する鳥野高の応援団のイメージを固めた。アニメ版の応援シーンは「相馬高」と「相馬の音」の両方が使われている。どちらか一方(令和2)年9月、当時の部員が校内の講堂で演奏したのを録音した。劇場版も同じ音源だ。

「相馬在来」は川俣町の和太鼓奏者湯藤元氣さん(58)が作曲を手がけ、相馬の音は湯藤さんがアレンジした。劇場版のエンディングには、相馬太鼓部と明記されている。部員は現在、32人。和太鼓大会や市内内外の祭りに積極的に参加し演奏を披露している。部長の小林栄志(29)は「ハイキュー!!」の大ファン。映画で

相馬太鼓部が多くの人に知ってもらえたと思う。今後、練習を積んで、名に恥じない演奏をしたい」と力を込める。東日本大震災発生以前に生徒の指導に当たっていた湯藤さんは「これからは受け継いでいってほしい」と願う。

相馬高男子バレーボール部は春高バレーに連年出場するなど、強豪校として知られる。部長の田中碧空(あおひ)さん(29)は太鼓部の応援を追い風に活躍を誓う。「相馬高のバレーと太鼓の素晴らしい音を合わせたい。作中のように全国の大舞台で和太鼓の響きが体音韻いっぱい広がるのを夢見て、闘志をみなぎらせる。

県内3館で劇場版上映中

「劇場版ハイキュー!!」の上映は3月16日に公開が始まった。県内では福島のイオンシネマ福島、郡山市の郡山シアトル、いわき市のポレロシネマズいわき小を会場に上映している。

2月25日までの観客動員数(興行通信社調べ)は2週連続で全国1位だった。

相馬高校太鼓部の記事が、2024年3月3日の福島民報社会版のトップに掲載されていたので、母校のうれしい資料として紹介したい。

(高13回 村山正之)